

日本語コミュニケーション (Communication in Japanese)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
一般科目	選択	4年	1	講義	一色誠子

【授業の概要】

本講義では、＜読む・書く・話す・聴く・考える＞の五つの力を意識した、日本語によるコミュニケーションの基礎を身につけることを目的として、様々なコミュニケーションツールの中から「バズセッション」「グループディスカッション」「ディベート」を実践をする。いずれも、思考を表現していく過程で、コミュニケーション力("ことば"と"こころ"と"思考"のキャッチボール)を身につけていくことを目指す。(注意事項)この授業は、半期で完結。前・後期に同様の内容を実施。

【授業の進め方】

コミュニケーションの知識を備えた上で実践をしていく。まず、人前で話す事に慣れるための簡単なトレーニングから入り、「バズセッション」「グループディスカッション」「ディベート」等の実践を繰り返す。その中で、自己の課題点を見つけ出し次回に結びつけていくことを求める。スキルアップの確認は学習シートで行う。また、最後の時間には授業のまとめとしてレポートを作成する。授業の内容を明らかにし確かな学習履歴を残すために、学習シートは毎時間提示する。なお、日本語の運用能力を確認するため「日本語検定」の受験を奨励する。

【授業の概要】	【授業項目】	【内容】				
1回	コミュニケーションとは？ コミュニケーション能力自己診断	1. コミュニケーションの様々なツールについて 2. 「話術」と「プレゼンテーション」の違い 3. コミュニケーション・センスを向上させるポイント 4. 距離感をつかもう！（ハイタッチ&ミニタッチ）				
2回	「コミュニケーションする」身体作り	1. 視線に慣れるには（体感ゲーム&視線の交差点） 2. レスポンスの実験				
3回	「コミュニケーションする」身体作り	朗読による、ボカール・バラエティーとボイストレーニングの実践。 (音楽テープを使用)				
4回	「コミュニケーションする」身体作り	コメント力を鍛える（スピーチ&アドバイス、あなたの素敵なお話をお聞かせください）				
5回	説得力のある話し方とは？	45秒CM（グループワーク）				
6回	バズセッション	1. グループディスカッションの様々な形態について 2. バズセッションの実践 その1				
7回	バズセッション	1. バズセッションの実践 その2 2. スキルアップするためのワンポイント・アドバイス				
8回	グループディスカッション	ディスカッションの課題は事前発表する。（要準備）				
9回	グループディスカッション	同上				
10回	グループディスカッション	同上				
11回	グループディスカッション	同上【グループマッピング】あり				
12回	ディベートマッチ	1. ディベートについて 2. ディベートマッチにチャレンジ！				
13回	ディベートマッチ	ディベートマッチにチャレンジ！（要準備）				
14回	ディベートマッチ	ディベートマッチにチャレンジ！（要準備）				
15回	よりよいコミュニケーションのために必要なこととは？	「コミュニケーション」と「コミュニケーション・センス向上」に必要なこととは何か。（レポート作成）				
【到達目標】	「バズセッション」「グループディスカッション」「ディベートマッチ」の基礎的を学習し、実践を通して各自がスキルアップをすることを目標とする。					
【徳山高専学習・教育目標】	A2	【JABEE基準1(1)】 f				
【評価法】	(1) グループディスカッション等の実践と最終レポートで総合評価する 最終評価 = (実践 80% + 最終レポート 20%) (2) グループディスカッション等の評価：準備メモ 50%、マナー 20%、積極的且つ有効な発言（ギャラリ一時の他グループへのコメントを評価の対象とする）30% / 回数 (3) レポート評価：A+ (90) A (85) A- (80) B+ (75) B (70) B- (65) C+ (60) C (55)					
【テキスト】	テキストは使用しない。「学習シート」「プリント」「各自の実践記録」を、ファイルに綴じていくことで一冊のテキストになる。					
【関連科目】	国語総合Ⅱ（3年生）					
【成績欄】	前期中間試験	前期末試験	前期成績	後期中間試験	後期末試験	学年末成績
	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】